

# ポートフォリオ制作

学生取材レポート

2023年 3月発行



ピアノ調律科2年  
小原光葉 櫻井ゆりな

ポートフォリオとは、日々の学習の成果だけでなく、学園祭などの学校行事やインターンシップなどの課外活動といった有意義な活動の様子も加え、その人の能力をより正確に表現することを目的に作成された作品集のことです。そのため、明確に数値化もしくは言語化しにくい要素を表現するのにも役立ちます。



日々の調律の成果を  
ポートフォリオにしました！



## 調律の記録

「学習のプロセスを表現するので、  
その人の本来の能力を把握しやすい」

結果を出すまでのプロセスを表現し、単に成果だけではなく学生が本来持っている能力や特性を表現するのに役立ちます。

2021年12月08日  
UP 4Hz上げ 112分



初めてのピッチ変更を  
全体的にチェックし、  
割振と高音の調整も行う。

2022年03月07日  
UP 4Hz上げ 105分



1年時最後のピッチ変更です。  
無駄にピンを動かさないことを意識して  
2ヶ月前よりもチェックが減りました。

2022年4月/日

進級

2022年04月20日  
UP 2Hz上げ 110分



初めての2Hz変更を  
オクターブが下がってきてし  
多いことが課題でした。

2022年06月16日  
UP 2Hz上げ 100分



2ヶ月の感応です。  
チェックは減るようになってきましたが  
まだ安定して割れないのが課題です。

2022年05月13日  
GP 同Hz 110分



2022年08月23日  
GP 同Hz 110分



「ポートフォリオの作成そのものが学びとなる」

作成を通して、自己評価を行い、先生から評価してもらうことで、どれだけ正しく客観的に自己評価できているか確認することができます。加えて、自分の能力や考えを示す根拠を揃えて自己アピールする力も身につきます。



「学習方法や成果をこまめに確認できる」

先生は、必要に応じて学生に合ったアドバイスを  
行うことで、学びを深めることの手助けをします。



# ポートフォリオができるまで

## STEP1



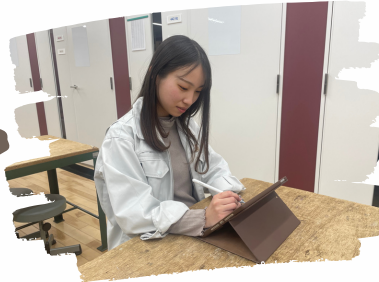
### 写真を撮る

- ・構図を考え、編集しやすいように色々なカットを撮る
- ・背景や光に気をつけて分かりやすくする

### 内容を文章でまとめる

- ・いかに読み手に分かりやすくするかを意識する

## STEP2

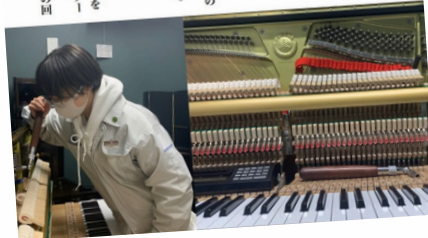


**調律**

①ユニゾン合わせ  
3本の弦を同じ音に合わせます。  
調かな聴きやすくするのが大変です。

②オクターブ調整  
基音の第2倍音と位置オクターブ上の第1倍音を合わせます。  
色々な倍音が聞こえるので大変です。

③調振  
基音(37C)を音叉で取り、それを基準に4度5度と広げていきオクターブ間の基準となる音程を作ります。  
2音を同時に鳴らし一秒間の聴きの回数を決めていきます。



### レイアウトする

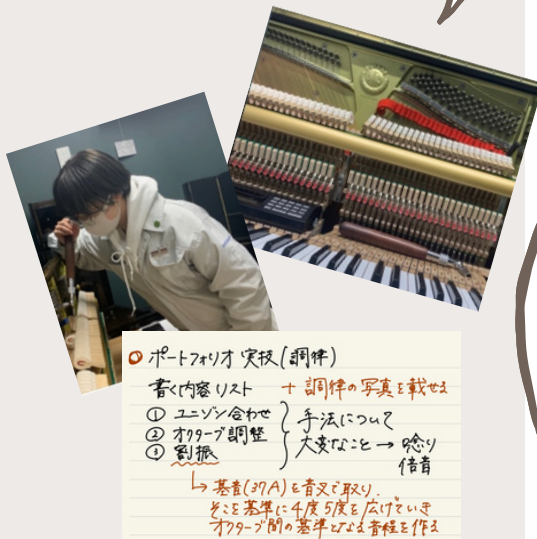
- ・読み手の視線を考えて文章や写真を配置する
- ・読み手が分かりやすいようなフォントを使う

## STEP3



### 完成!

内容を更新する度に学んだことを振り返ることができます



○ポートフォリオ 突抜(調律)

書く内容リスト + 調律の写真と載せ

① ユニゾン合わせ } 手法について  
② オクターブ調整 } 大変なヒー  
③ 調振 } 総リ倍音

→ 基音(37A)を音叉で取り、  
それを基準に4度5度と広げていき  
オクターブ間の基準となる音程を作る

就職活動で使いました!  
企業側の反応は?

ピアノ調律科2年 M.Kさん

特に学校外の活動として紹介した、アルバイトの経験についての反応が良かったです。就職後には、1人で家庭を訪問し調律業務をする予定なので、1人でアルバイトの業務をこなしていたという点に、特に良い反応をいただきました。履歴書には書けないことがポートフォリオにはたくさん書けるので、自分の事をたくさん知っていただける大きな材料になると感じました。

